

新緑のなかに、紫陽花が美しく映える 6 月となりました。

雨にぬれた草の葉にカタツムリ……絵葉書のような風景を楽しむ心のゆとりを持ちたいものだと思うこの頃です。

5 月には、3 日の「つちのこフェスタ 2017」、14 日の「かも 1 グランプリ in 東白川」が開催されました。両日とも好天に恵まれ史上最高の来場者を迎えることができ、「つちのこフェスタ」が 2,900 人、「かも 1 グランプリ」が 5,000 人という主催者発表でした。2 つのイベントの開催にご協力いただいた全ての関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

さて、この 2 つのイベントは、主催者もイベント内容も異なりますので同一観点で論じることができない点多々あるかとは思いますが、総じてイベントの成果とはどのように評価すべきでしょうか。

どんなイベントでも目的を明確にし、その成果について評価しておくことが重要と考えます。村外から多数の来場者が東白川村に訪れます。いわゆるイベントの集客効果ですが、このことによって飲食物やお土産品などの消費拡大が行なわれ、将来的な顧客獲得にもつなげていくことが挙げられます。

心のコもった運営や接客により好印象を持っていただき、別の機会に東白川村を訪問していただけるという効果も期待できます。こうした直接的な効果もありますが、私は多くの来場者による口コミや、テレビ、新聞等のマスコミに東白川村の名前がでることによる宣伝効果やイメージアップの効果があり、イベントに協力いただいた皆様をはじめとして村民の多くの皆様が東白川村を誇りに思っていただけることを大きく評価したいと思っています。

「何にも特徴の無い村やで」などと悲観的、或いは自嘲的に村の事を話す人も多かったこの村が変わりつつあるのではないかと思います。

多くの方から「村長、大勢の人で賑わって良かったね」といって笑顔で声をかけていただきました。このことが若い世代や子ども達の自信や誇りにつながることを願っています。

村の自慢といえばこの季節は朴葉寿司が旬の季節です。鮎の友釣りも解禁を迎えます。

「かも 1 グランプリ」では本村の商工会青年部の鮎ラーメンが見事 3 位に入賞しました。

「鮎ラーメン」「お茶いり五平餅」「ジビエトマトカレー」「極み出汁にごみうどん」「あまごそば」東白川村から出品していただいたどれもが高評価でした。これらの料理が、新しい東白川の味になることも大切なイベントの目的であると言えます。

今後の展開に期待したいと思います。

6 月は、集中豪雨や台風が心配な季節ともなります。

今年も大禍なく過ごせるよう消防団や自主防災会ともしっかりと連携し、防災の備えをしてまいりたいと思っております。

平成 29 年 6 月

東白川村長 今井俊郎